

# 台風到来時のバスの運行について

[平成 17 年 9 月 5 日付決定]

[平成 27 年 9 月 8 日 日野自動車株式会社追加]

謹啓 毎度宇野バスをご利用いただきまして、ありがとうございます。

さて、標記に関しまして、弊社では、下記理由により、次のとおり、決定致しましたので、お知らせ致します。

- ① 暴風圏に入ることが予測される場合には暴風圏に入る前後
- ② 平均風速が 20m/秒を超える場合
- ③ 路線道路の冠水
- ④ その他弊社が安全運行が確保できないと判断した場合

上記の場合には運行を全面中止、また、一部区間の運休による区間折り返し運行させていただくことに致しました。

なお、台風到来時の運行状況につきましては、電話 086-225-3311 へお問い合わせ下さい。

敬具

## 記

弊社では、平成 16 年の 3 度に亘る大型台風の到来時、3 度に亘って運行を中止し、お客様には大変ご迷惑をお掛け致しました。お詫び申し上げます。

弊社路線は、旭川、吉井川、砂川等河川の堤防上を運行する路線(美作線、東岡山線、国道 2・250 号線)が多く、しかも、片道 40km、50km を超える長距離路線もあり、台風による横風や突風を受ける危険性が極めて高く、岡山市内中心部における風速とはかなり異なる強風を受けながら走行することになります。

そうした中で、平成 16 年の台風では、台風の強風による危険性はもとより、

- ① 弊社バス路線の備前大橋上で、弊社バスの運行時間帯に走行中のトラック 3 台が強風にあおられて横転するという事態(裏面写真参照)
- ② 大雨による土砂崩れに弊社バスの数台先の乗用車が巻き込まれ、同土砂崩れにより、国道 250 号線が数日に亘り通行不能になる事態
- ③ 大雨や高潮により、路線道路が各地で冠水する事態

等が発生し、安全運行の観点から、運行中止を決定したところであります。

弊社では、弊社使用のバス製造メーカーである三菱ふそうトラック・バス株式会社、日野自動車株式会社に、台風到来時の運行の安全性に関する強風の影響について問い合わせたところ、

- ① 強い横風でハンドルをとられる危険性
- ② 雨に濡れた路面を走行中の強風によるスリップの危険性
- ③ 強風による横転の危険性

等を考慮して、「平均風速が 25m/秒を超える場合は運行を見合わせるのがよろしい」旨の回答を得ています。

ちなみに、日本道路公団では平均風速が 20m/秒を超える場合には通行止めになっています。

弊社と致しましては、以上を総合的に判断し、お客様の安全を最優先に上記方針を決定いたしました。

お客様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、本方針にご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上



写真：山陽新聞社提供